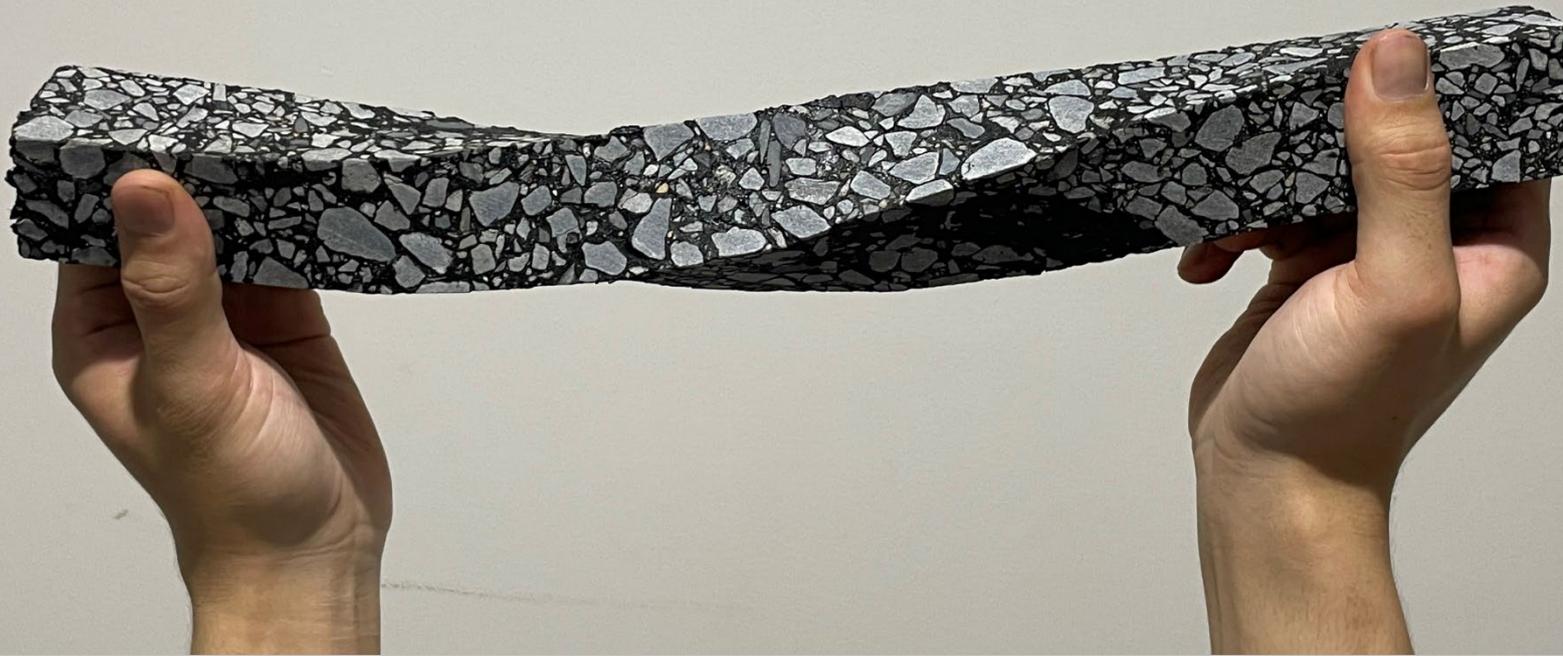


高たわみ性ポリマー改質アスファルト

FRバインダー

NETIS登録NO. CB-240028-A



概要

FRバインダーは、従来のポリマー改質アスファルトと比較し、交通荷重による舗装のたわみに追従するため、ひび割れに対する抵抗性に優れます。FRバインダーを用いることで、ひび割れやわだち掘れの発生を抑制し、アスファルト舗装の長寿命化が図れます。

特長

- ・疲労破壊抵抗性は、ポリマー改質アスファルトⅡ型の約100倍です。
- ・局部的な変形に対するひび割れ抵抗性やリフレクションクラック抑制効果が高いです。
- ・高い応力緩和性能を有するため、低温ひび割れを抑制します。
- ・ポリマー改質アスファルトⅡ型と同程度の塑性変形抵抗性を有します。

□ 適用箇所

- ・交通荷重によるたわみ量が大きく、疲労ひび割れの発生が懸念される路線
- ・リフレクションクラックが懸念される路線
- ・寒冷地域で低温ひび割れの発生が懸念される路線
- ・橋面舗装などのたわみ追従性が求められる箇所

□ 標準的性状

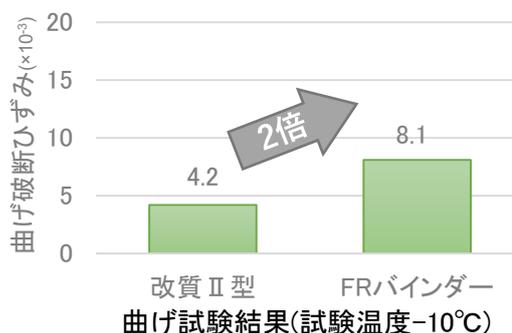
項目	単位	社内規格	標準的性状	改質Ⅱ型
軟化点	℃	75.0以上	90.5	56.5
伸度 (15℃)	cm	50以上	100+	100+
針入度 (25℃)	1/10 mm	80以上100以下	88	50
粗骨材の剥離面積率	%	5以下	0	—
フラス脆化点	℃	-25以下	-26	-16
損失弾性率 $G^* \sin \delta$ (25℃)	MPa	0.40以下	0.2	1.81

□ 混合物性状

FRバインダーを用いたアスファルト混合物は、疲労破壊回数が、改質Ⅱ型アスコンの約100倍となり、極めて優れた疲労ひび割れ抵抗性を有します。



FRバインダーは、曲げ破断ひずみが大きいいため、低温時のひび割れ抵抗性に優れています。



FRバインダーを用いたアスファルト混合物は、改質Ⅱ型アスコンと同程度の安定度、耐水性および耐流動性を有します。

項目	単位	代表値	基準値
マーシャル安定度	kN	12.3	5 以上
残留安定度	%	91.1	75 以上
動的安定度	回/mm	5250	3000 以上

□ 使用上の留意点

- ・FRバインダーは右表の製造、施工温度を推奨します。
- ・適正な温度条件で製造、施工を行ってください。

項目	推奨温度	
製造時	混合温度	180±5℃
	敷きならし温度	160℃以上
施工時	初期転圧温度	140℃以上
	二次転圧温度	100℃以上